

【学校教育目標】 ○主体的に学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○健康でたくましい生徒



# 美 笹 中 だ よ り

戸田市立美笹中学校 Misasa Junior High School

TEL 048-421-3011 FAX 048-422-6093

URL <http://www.toda-c.ed.jp/site/misasa-j/>

&lt;生徒数&gt;

第1学年 100

第2学年 83

第3学年 99

合 計 282

## 教育は1日にしてならず

主幹教諭 矢作 浩章

先日、本校の学校評価アンケートの結果がまとまりました。生徒の皆さんからは71%、保護者の皆様からは47%の回収率でした。まず、この数字そのものが、今の社会の1つの姿を映し出しているように感じています。忙しさ、情報の多さ、選択肢の氾濫——「大切だと思っているが、関わりきれない」。そんな現代の空気が、この回収率に表れてはいないでしょうか。

一方で、回答いただいた内容を見ると、本校の教育活動に対する評価は全体として高く、学習指導、学校行事、生活態度、施設の安全性など、多くの項目で肯定的な声をいただきました。これは、日々努力を重ねている教職員、そして学校生活を真剣に生きている生徒たちの姿が、確かに地域に届いている証であります。

数字は同時に、私たちに鋭い問いを投げかけています。生徒の「家庭学習を毎日行っている」が54.8%にとどまっていること、保護者評価において「学力向上」や「学習習慣の定着」が他項目より低いこと。これは、単に「努力が足りない」という話ではありません。効率や即時性が重視され、「すぐ役に立つもの」だけが価値を持つような社会の中で、時間をかけて学ぶこと、地道に積み重ねることの意味が、見えにくくなってはいないでしょうか。

学校は、知識や技能を効率よく身に付けさせる場であると同時に、今の社会では忘れられがちな「急がなくてもよい」「遠回りにも意味がある」という価値観を、子どもたちに体験を通して伝えられる数少ない場です。すぐに成果が見えなくても、立ち止まり、迷い、自分自身と向き合いながら考え続けること。その過程そのものが、人としての土台をつくります。

結果や効率が優先され、次々と新たな取組や対応が求められる社会の中で、学校は常に「やるべきこと」に追われています。その影響で、本来子どもたちにとって欠かせない、立ち止まって考え、迷い、試行錯誤を重ねる学びの時間が、知らず知らずのうちに削られてはいないでしょうか。多くを求める大人側の都合が先行し、子どもに本当に必要な時間が後回しにされているとすれば、それは見過ごすことのできない問題です。そうした時間を確実に保障し、成果がすぐに見えなくても価値あるものとして守り抜けているのか——今まさに、その姿勢が大人である私たち自身に、厳しく問われているのだと思います。

学校評価の数字は、学校への成績表であると同時に、社会への問いでもあります。子どもたちがどんな社会を生きていくのか。その土台を、学校・家庭・地域がどう支えるのか。今回の結果を出発点に、共に考え、共に悩み、共に歩んでいけたらと思います。美笹中学校は、これからも「数字の奥にある声」に耳を澄ませながら、教育の本質を問い続けていきます。

## 【学校評価を終えて】

学校・家庭・地域が連携した教育活動を推進するため、11月に学校評価アンケートを実施いたしました。保護者の皆様におかれましては、御多用の中、御協力くださり誠にありがとうございました。評価の結果をまとめましたので、お知らせいたします。この結果を基に、学校と家庭が連携し、生徒一人一人のよりよい成長につながる教育活動を進めていきたいと考えています。

### (1) 保護者評価回収率

47%

No.	評価項目	肯定的評価
1	学校は、充実した学習指導（教材の工夫・指導方法）を行っている。	89.7%
2	学校は、学校行事（旅行的行事・運動会・合唱祭等）を充実させている。	97.5%
3	学校は、道徳や体験的な活動を通して思いやりの心やマナーを育てている。	84.9%
4	学校は、進路や職業についての情報提供や授業をよく行っている。	81.0%
5	学校は、充実した部活動指導をしている。	79.8%
6	学校は、生徒や保護者の相談に適切に対応している。	86.4%
7	お子さんは、髪型や服装がきちんとしている。	96.7%
8	お子さんは、あいさつがきちんとしてできる。	88.2%
9	学校は、清掃が行き届き、きれいである。	91.6%
10	学校は、教育方針や指導状況を保護者に伝えている。（各種たより、説明会等）	89.2%
11	学校の施設・設備は安全で充実している。	89.0%
12	学校は、学力向上に努めている。	70.1%
13	学校は、学習習慣を定着させる指導をしている。	67.5%
14	総合的に見て、美笹中学校の教育に満足している。	77.8%

### (2) 生徒評価回収率

71%

No.	評価項目	肯定的評価
1	学校は、充実した学習指導（教材の工夫・指導方法）を行っている。	94.5%
2	学校は、学校行事（旅行的行事・運動会・合唱祭等）を充実させている。	98.0%
3	あなたは、他人への思いやりの心やマナーを持っている。	88.0%
4	学校は、進路や職業についての情報提供や授業をよく行っている。	83.4%
5	あなたは、部活動に積極的に参加している。	77.9%
6	先生は、相談に適切に対応してくれる。	92.0%
7	あなたは、髪型や服装がきちんとしている。	97.5%
8	あなたは、あいさつがきちんとしてできる。	92.5%
9	あなたは、清掃をよく行っている。	94.5%
10	あなたは、学校からの配布物を家庭へ届けている。	74.0%
11	学校の施設・設備は安全で充実している。	89.4%
12	学校は、学力向上に努めている。	90.5%
13	あなたは、毎日、家庭学習を行っている。	54.8%
14	あなたは、総合的に見て、美笹中学校の教育に満足している。	83.9%

## 成果と課題

今回のアンケートでは、生徒・保護者ともに多くの項目で肯定的な評価が得られました。一方で、いくつかの課題も明らかになりました。

第一に、「家庭学習」（生徒 54.8%）、「学力向上」（保護者 70.1%）「学習習慣を定着させる指導」（保護者 67.5%）の評価が相対的に低く、学校の取組が家庭まで十分に実感として伝わっていない可能性があります。家庭学習を「宿題をこなすこと」で終わらせず、「自分で学ぶ内容を考える学習」へとつなげていくために、学校で具体的な示し方や支援の工夫が必要だと考えます。

第二に、学校と家庭をつなぐ情報の流れに課題があることが分かります。学校で配付したものが確実に家庭に届くためには、学校での指導だけでなく、家庭での受け止め方や置き場所の工夫など、学校と家庭が共通理解をもつことが重要です。

また、保護者評価回収率が 47%にとどまった点も、大きな課題として受け止めています。アンケートへの回答が「学校との関わり」の第一歩であることを踏まえ、今後は学校からの一方的な情報発信にとどまらず、より「伝わり、参加しやすい」方法を工夫するとともに、日頃から提出物の回収率向上にも取り組んでまいります。